

大田区立新井宿福祉園 平成 30 年度事業計画

1, 運営方針

「地域と共にある」

1. 利用者の権利と尊厳を守り、一人ひとりの個性と可能性を尊重した支援を行い利用者が地域で暮らし続けられることを目指します。
2. 利用者のニーズを把握し、効果的なサービスの提供と効率的な事業所運営に努めます。
3. 家族、関係機関、地域社会との連携を図り、利用者の自立を目指した運営に努めます。
4. 情報公開等により、透明性の高い運営に努めます。

2, 職員等配置計画

職員 24 名・非常勤職員 3 名・嘱託医 2 名、専門講師等 2 名 合計 31 名

3, 今年度の重点目標

| | 重点目標 | 具体的取組 | 取組時期 | 法人重点 |
|---|--|---|----------------------|----------|
| 1 | 利用者のニーズや個々の特性を生かした活動の提供とサービスの質の向上 (はたらく・まなぶ・いきる) | 個別支援サイクルの意識的推進 アセスメント・ニーズに基づく 根拠ある支援の展開 日中活動(プログラム)見直し活動 | 通年 | 1) 4) |
| 2 | 地域に根ざした事業所運営 | ①開設 20 周年記念「感謝の会」 ②第 20 回新井宿福祉園まつり ③地域交流の実績等を活かして の地域公益活動の推進 | ①7 月 ②11 月 ③通年 | 2) 3) |
| 3 | サービスの質の向上に向けた職場の共通認識づくりと活性化 | 外部・内部研修の活用(専門性) 諸規程・手引き等の確認や共有 の機会設定(社会性・組織性) 「TOKYO 働きやすい福祉の職場 宣言」に向けた取り組み検討(ガ イドライン活用) | 通年 | 3) 4) |

4, 利用者受入計画

| | | | |
|--------|-------|-------|-----|
| 年間開所日数 | 240 日 | 利用率目標 | 82% |
|--------|-------|-------|-----|

5, 年間行事計画 (詳細別紙)

| | | | |
|-----|------------------------------|------|-----------------|
| 4 月 | 入所式・グループ懇談会(上期)・給食試食会・子ども GP | 10 月 | しょうがい者の日のつどい |
| 5 月 | 宿泊旅行 | 11 月 | 第 20 回新井宿福祉園まつり |
| 6 月 | グループ外出(プール~7 月) | 12 月 | 年末コンサート |
| 7 月 | 開設 20 周年記念「感謝の会」・入二小交流会 | 1 月 | グループ懇談会(下期) |
| 8 月 | 運動交流会(大森三中と合同開催) | 2 月 | 三者面談 |
| 9 月 | グループ外出(ピクニック) | 3 月 | グループ外出(バスハイク) |

※4~12月…個別・小グループ外出

6, 地域公益活動の推進

| | 実施項目 | 具体的内容 |
|---|--------|---|
| 1 | 地域まつり | 第20回新井宿福祉園まつり |
| 2 | 地域交流行事 | 開設20周年記念「感謝の会」、子どもGP(企画運営) 作業見学・体験交流(入二小5年生)、運動交流会(大森三中) 作業交流(新井宿民児協:煎餅作業等)、自主製品販売・納品 |
| 3 | 環境美化活動 | 「自治活動」等での近隣の清掃等活動、夏期の打ち水 |
| 4 | 新規取り組み | 新たな地域公益活動の検討と試行 |

7, 地域・関係機関連携

| | 実施項目 | 具体的内容 |
|---|---------|--|
| 1 | 地域交流・連携 | 「6, 地域公益活動の推進」に記載の内容に準ずる 地域生活支援事業所との連携強化(相談・緊急一時・居宅・GH) |
| 2 | 福祉人材受入 | 職場体験(中高)・保育実習(専)・介護等体験(大) ボランティアの継続的受入 |
| 3 | 広報活動等 | 新井宿福祉園だより発行(年4回:利用者が近隣住民にポスティング)・HPの整備と情報発信 |

8, 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画(*事業所計画)

目的:職場の研修ニーズアセスメントに基づき、専門職としてのキャリア形成を念頭に人材育成

| | 実施項目 | 具体的取組 |
|---|-----------|---|
| 1 | OJT・職場内研修 | (新任職員)新任職員OJT (業務を通じて)支援マニュアル類を活用した支援業務引継・OJT (事例検討)ヒヤリハット(ニヤリホット)活動、個別支援計画策定関連会議、アセスメント検討会 (講習)虐待防止、疾患・障害特性、個別支援計画(書式理解活用) (共有)就業規則、キャリアパス、サービス提供ガイドライン、利用契約書式 |
| 2 | 外部研修 | 東社協階層別研修、職種別の専門性研修(医療・支援技術・会計・労務等)、他法人・他分野の先進事例等の見学、事業所間交流研修(特に地域生活支援事業所)、受講内容発表の機会創出 |
| 3 | 自己研鑽支援 | 資格取得支援(法人の仕組みによる) 研修情報等の提供・書籍等の購入・回覧 |
| 4 | 各種マニュアル整備 | 統一した支援方法の可視化・言語化(PDCAサイクルで随時見直し)、間接業務の平準化 |

9, 権利擁護・虐待防止の取り組み

| | 実施項目 | 具体的取組 |
|---|--------|--|
| 1 | 虐待防止 | 「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の設置と取り組みにより推進 個別支援サイクルの意識的な推進・相談支援従事者との連携、ボランティア・実習生受入、家族等の見学受入対応（随時） |
| 2 | 権利擁護 | 「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援の実践 意思決定支援と合理的配慮の適切な支援反映 |
| 3 | 苦情解決 | 「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応 |
| 4 | 個人情報保護 | 「個人情報保護規程」および「特定個人情報取扱規程」に基づいて適切に対応 |

10, 法令遵守に関する取り組み

| | 実施項目 | 具体的取組 |
|---|--------------|---|
| 1 | 法令遵守 | 法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき適切に対応 |
| 2 | 「働きやすい職場」づくり | 「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」に向けた取り組み検討(ガイドラインを活用) |

11, 危機管理計画

| | 実施項目 | 具体的取組 |
|---|-------|--|
| 1 | 防災関連 | 定期防災訓練・福祉避難所開設検討会および訓練 職員による建物設備自主点検・日常点検（毎日） |
| 2 | 緊急時対応 | 「緊急時対応マニュアル」により対応 |